

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	09 02 03	中期総合計画主要施策番号	2-04	担当課	部・課	林務部信州の木振興課	
事業名	森林整備に直結する作業道整備事業				内 線	3247	
					E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H17 ~	根拠法令等	森林・林業・木材産業づくり交付金実施要綱				
実施方法	市町村・森林組合等へ補助金を交付し実施					国庫・県単	国庫補助事業

事業の概要等	目的(必要性)	既存の林道を幹線として効果的に活用することで間伐材の搬出コストを低減させる一方で、直接整備の必要な森林へアプローチするための作業道等の整備により、森林整備及び間伐材の利活用の促進を図り、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させる。
	対象	市町村・森林組合等
	目指すべき姿	森林整備等の促進のため作業道等を整備する。 (H32年度作業道開設延長目標3,497km、内直結作業道922km(森林づくり指針の整備目標のうちその他事業及び自力施工分等を除く延長))
	事業内容	作業道整備 (補助率: [国]5/10, [市町村等]5/10)

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)		千円	55,138	33,072	13,425	補助金: 51,144千円 (H24への繰越額: 7,500千円)
	決 算 額 (B)		千円	35,913	25,572		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円				
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.20	0.20	0.10	
		概算人件費 (C)	千円	1,663	1,652	826	
概算事業費 (B(H24はA) + C)			千円	37,576	27,224	14,251	
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	累積整備延長(活)		km	848(5)	849(2)	851(1)	「H23完了箇所: 5路線」 (内訳作業道5路線) 整備済延長累計の括弧書きは年間整備延長 (効率指標算出式) 概算事業費 / 年間整備延長
	実施路線数(活)		路線	12	6	2	
	間伐促進面積(成)		ha	130	33	11	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 新規整備延長1kmあたり事業		千円 /km	7,515	26,398	15,851	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	平成32年度の作業道開設延長目標3,497kmの達成に向け、平成23年度は作業道開設2,279kmmの内、直結作業道877kmの整備を進める。	平成23年度末の実績累計延長は849km(93.8%)となり、目標達成に向け順調に進んでいる。	b 期待どおり

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・森林整備の実施が急がれている中で、森林へのアプローチや、間伐材の搬出等に重要な作業道等への要望は高い。 ・林業再生を図っていくため、搬出間伐のコスト削減につながる基盤整備の重要性が高まっている。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	・市町村、森林組合等の事業主体と情報交換を密にし、森林整備等により効果的な路線の開設を目指す必要がある。 ・地球温暖化防止対策で、森林吸収源としての森林を緊急に整備する必要性が高い期間(京都議定書の第1約束期間のH24まで)中であり、基盤整備としての作業道の整備の推進が重要である。
	特記事項	